

提案者	新居浜市、株式会社 ハートネットワーク、慶應義塾大学
実施地域	新居浜市
事業概要	少子高齢化が進み、災害多発地域である観光都市、新居浜市において、バリアフリー観光・移動システム、緊急時・災害時はバリアフリー避難・救護システムとして、利用可能なICTバリアフリーシステムを構築する。行政、地域メディア、コミュニティが一体となった救護体制を整備するとともに、要援護者情報及び援護者情報(消防団員、民生員等)のIDを活用する。

平時

バリアフリー観光・移動システム
 障害者・高齢者に配慮した
 観光・移動サービスを街全体で提供
バリアフリー健康管理システム
 病院が未設置の離島、山間地における
 高齢者・障害者の健康管理サービスを提供

観光都市・新居浜市

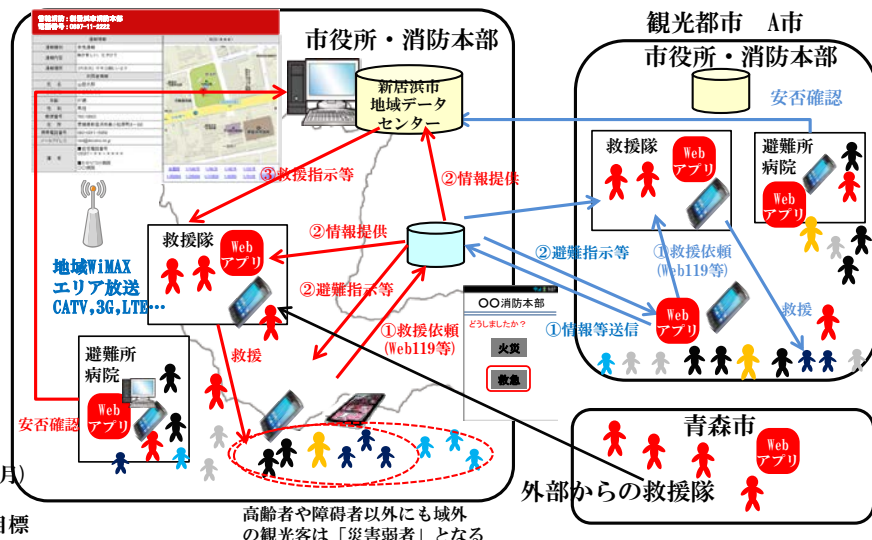
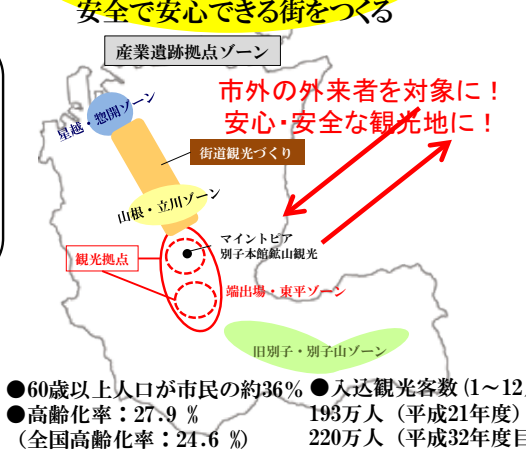
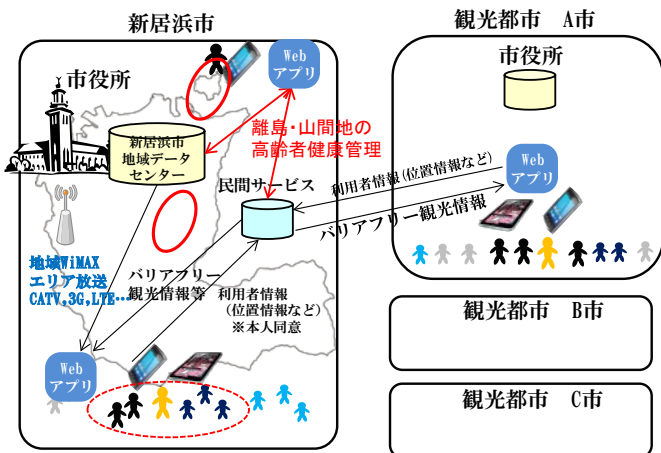
少子高齢化・災害多発地域
 都市機能、生活機能が分散された都市構造
 (離島・大島、別子山山間地等が存在する複雑な地形構造)

平時と緊急時・災害時の別なく
 サービスが連続する
 ICTバリアフリーシステムを構築し、
 高齢者を含むすべての人々に
 安全で安心できる街をつくる

市外の外来者を対象に!
 安心・安全な観光地に!

緊急時・災害時

バリアフリー避難・救護システム
 市内の高齢者・障害者及び外来者へ
 ICTを活用して、地域コミュニティが一体となって
 街ぐるみで救護体制を提供



- 60歳以上人口が市民の約36%
- 高齢化率：27.9%
- (全国高齢化率：24.6%)
- 入込観光客数(1~12月)
- 193万人(平成21年度)
- 220万人(平成32年度目標)

■ 新居浜市民 健康者
 ■ 観光客(市外) 健康者
 ■ 介助者
 ■ 新居浜市民 障害者・高齢者
 ■ 観光客(市外) 障害者・高齢者
 ■ 救援隊 (消防本部、民生員等)